

主要施策名：(4)観光・物産プロモーションの推進

事務事業本数：14

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
③賑わいと活力ある産業づくり	(4)観光・物産プロモーションの推進	(1)インバウンド事業の推進	341-1	市民会館管理事業	管財課
		(5)6次産業化の推進	345-1	6次産業推進事業	ふるさとセールス課
			340-1	玉名ブランド推進事業	ふるさとセールス課
			340-2	マスコット管理事業	ふるさとセールス課
			340-4	施設等管理運営事業	ふるさとセールス課
			340-5	草枕の里事業	ふるさとセールス課
			340-6	イベント誘客事業	ふるさとセールス課
		(1)インバウンド事業の推進	341-2	受け入れ態勢整備事業	ふるさとセールス課
			340-7	地域づくり事業	ふるさとセールス課
		(1)インバウンド事業の推進	341-3	情報発信事業	ふるさとセールス課
		(2)着地型観光商品開発の推進	342-2	協議会等連携・支援事業	ふるさとセールス課
		(1)インバウンド事業の推進	341-4	インバウンド推進事業	ふるさとセールス課
		(4)玉名版DMOの構築	344-1	玉名版DMO構築事業	ふるさとセールス課
			340-8	金栗四三PR事業	金栗四三PR推進室

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 市民会館指定管理業務	指定管理協定に基づく負担による修繕を行う。	修繕件数	箇所	1	1	1	2
② 市民会館維持管理業務	市民会館を効率的に安全で快適に使用できるように指定管理者に管理運営させる。	開館日数	日	283	360	360	360
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
	対象(市民会館利用者数)	106567	110727	107686	107686
投入コスト合計(千円)	23,180	39,888	39,684	44,964	
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0	
コスト評価(対前年比)	***	60.38%	(↓)	97.75%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 市民会館利用者数	市民会館を利用した年間延利用者数	人	—	106567	110727	107686
			106567	110727	107686	
2						

* 成果未達成時の理由 主に市民会館ホールの利用において、件数及び人数いずれも減少したため(前年比△5.8%)。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 【23】		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	利用者アンケートからも施設老朽化に伴う改善要望が大半であり、開催行事等に対しては一定の満足度を得ている。引き続き効率化を図ること及びサービスの向上、幅広い年齢層への周知活動を指定管理者に対して求めていく。			
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

【27】 評価責任者(課長)の所見	市民会館指定管理については、指定管理者が提案している自主文化事業など事業計画書を適切に実行した。市民会館の修繕については、指定管理者との協定に定めるリスク分担に基づき、市が行うべき修繕を行った。	評価責任者 木村 隆宏
----------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 研究開発事業	補助金を交付することにより6次産品の開発を支援する。	補助金交付件数	件	2	6	9	6
② 販路開拓事業	市場調査(テストマーケティング)の場の提供、販路開拓(商談)支援	販売会の開催、商談会での支援回数	回	29	17	10	10
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(6次産業に取組む市内の農林漁業者(1次生産者))	0	19	20	20			
投入コスト合計(千円)	20,200	12,818	12,763	14,483				
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	675	638	724				
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	105.72%	(↑)	88.12%	(↓)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 6次産品売上高	市の補助金を活用して開発された6次産品の販売金額	千円	70000 58277	70000 50683	50000 45765	50000
2 6次産業推奨品認定数	市が推奨品として認定した商品数	品	— —	3 0	5 2	5

* 成果未達成時の理由 同様な商品がある中で、販路を獲得し売上に繋げるのは難しい。事業者の高齢化もあり、事業を縮小している事業者もいる。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
		<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
		<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	H30年度の推奨品認定数は2商品でR1中に8商品認定することが必要なことから第3期計画の推進目標達成は難しいと思われる。ブランド物産と6次産業それぞれで実施した物産展では、ブース数や広さにもよるが可能なものには出店案内をした。補助金申請が前年度の6件から9件に、申請額も大幅に増えたため、決算額は前年度に比べ増となった。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	補助金以外の事業を中心に支援を続ける。第4期推進計画の策定とR2年度の予算要求に補助金を計上するかを検討する。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	平成31年3月末現在、6次産業事業者数は20者。8年間の事業経過から、第1次産業従事者単独で生産・加工・販売をすべて担うことは、家族(少数)経営では、事業拡大は現実的に厳しい状況。第1次産業者が農業法人など会社組織化されていれば、人材的にも有効。今後は、本市独自の6次産業化として「農・商・工連携」による事業展開も必要と考える。第4期推進計画の策定の要検討。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 玉名ブランド物産PR事業	集客が多いイベントへブース出展して、ブランド物産品をPRする	イベントへの参加回数	回	2	4	6	6
② キラリかがやけ玉名物産展事業	物産展を開催してブランド物産品を販売する	参加業者の件数	件	—	16	32	30
③ オリジナルロゴマーク管理事業	オリジナルロゴマークの作製及び使用申請の審査・許可を行う	作製及び審査件数	件	—	0	0	1

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(ブランド物産協会会員)	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画	
		0	32	32	32	32	32	32	32
		7,245	10,437	11,026	10,603	11,026	10,603	11,026	10,603
		0	326	345	331	345	331	345	331
		***	0.00%	(-)	94.66%	(↓)	103.99%	(↑)	103.99%

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
1 ブランドの知名度	物産展での集客人数	千人	—	—	1700	1700
2 玉名市物産展での売上	物産展でのブランド物産品の販売額	千円	2500	2500	3000	4600
			2385	3211	4581	—

* 成果未達成時の理由 2月の大阪での物産展では、同日に別会場で熊本のイベントが開催されており、昨年度に比べて集客が減少した。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	
公平性 [24]	<input checked="" type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標を設定している	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
公平性 [24]	<input checked="" type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	
公平性 [24]	<input checked="" type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(受益者負担はなじまない)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	ブランド認定品の見直しを玉名ブランド物産協会へ打診したところ、前向きに検討いただけるようなので、引き続き玉名ブランド物産協会と協力して検討していく。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	ブランド認定品の見直しも引き続き検討する。東京と大阪は実施内容が例年同じであるので、今後内容について検討する。広島フラワーフェスティバルへの参加は、開始から10年目の30年度で終了予定だったが、本年度も金栗四三PR室と連携して実施した。令和元年度をもって広島でのPR事業は終了する。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	広島市でのPR事業はR1年度で終了。大阪(千里)と東京(渋谷)については、農林水産政策課とも協議し、実施の有無も含め、内容の再検討が必要。金栗四三氏関連での東京都文京区との包括協定を踏まえ、新規の事業展開の検討も必要と考える。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 玉名市マスコット管理事業	マスコット画像及び着ぐるみの使用・貸出し・申請の審査・許可する。	使用申請審査件数	件	108	88	83	80
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算			
	対象(マスコット使用申請者及び着ぐるみ貸出し申請者)	108	88	83	80		
	投入コスト合計(千円)	2,635	4,518	4,087	4,482		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	24	51	49	56		
コスト評価(対前年比)	***	47.52%	(↓)	104.26%	(↑)	87.89%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 マスコット使用許可件数	マスコットの使用を許可した年間件数	件	50	50	30	50
			43	33	64	
2 認知度向上	市外出動件数	件	***	—	20	30
			***	17	31	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
公平性 【24】	<input checked="" type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	
公平性 【24】	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	昨年度制作した金栗バージョンの衣装を着用して金栗四三PR推進室と連携して玉名市のPRに努めた。各課へ周知したことで、各課で開催するイベントのチラシや印刷物への使用や、イベント当日の着ぐるみ使用につながった。熊本県立大学との提携事業で動画を制作し参加型の事業を実施したことで、タマにゃんツィッターの閲覧数が増加した。市外のイベントにも積極的に出演し、認知度向上に努めた結果、ゆるキャラグランプリでは意願の100位以内となった。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	市外での活動も増え認知度も上がったが、休日の出勤が多く担当職員の負担が増えたため、一担当職員の負担にならないように調整する。 市で使用する画像の使用申請については、事務の軽減のため簡易申請を検討する。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	くまモンとのコラボも増え、認知度は確実に向上してきている。大河ドラマ「いだてん」にちなみ「金栗バージョン」のタマにゃんなど、バリエーションが増えたことも功を奏した。画像や着ぐるみの貸出し等の事務処理は、実情を考慮し、見直しの検討を行なう。R1年度は、商標登録の更新を申請する。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 「たまら」指定管理業務	指定管理者に基本協定に基づき、管理運営を行わせる。	開館日数	日	365	365	365	365
② 松原海水浴場事業	委託により警備・清掃を行う。	委託期間	日	43	40	39	41
③ 小岱山ふるさと自然公園事業	委託により管理を行う。	委託期間	日	365	365	365	365

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算			
	対象(施設利用者数(H30は目標値入力))	180976	187850	187189	185000		
	投入コスト合計(千円)	44,512	37,370	41,972	38,989		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0		
コスト評価(対前年比)	***	123.64%	(↑)	88.73%	(↓)	106.39%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 利用者数	たまら、松原海水浴場、小岱山ふるさと自然公園、Y・BOXの延べ利用者数	人	180000	180000	180000	185000
2			180976	187850	187189	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果	
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている	<input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている		a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている	b			
<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている				
<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる				
<input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である				
<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている				
<input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない				
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価	
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b			
<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある				
<input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない				
<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある				
<input type="checkbox"/> ・成果指標を設定している				
<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した				
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価	
	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる		a 高い b やや高い c やや低い d 低い	
<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	b			
<input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している				
<input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している				
<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある				
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる			

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	松原海水浴場の管理については、令和5年度の指定管理者の更新時期に向け、それぞれの施設が指定管理であるため、積極的な協議、検討をする必要があるが、主管課となる部署が不確定であるため、協議と検討が進んでいない。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	本事業の内、松原海水浴場については、同敷地内に3施設が混在し、所管する課が3課に分かれているため、管理が一本化されていないので、指定管理者制度を主とする企画経営課を含めて一体的な管理運営の手法として、指定管理者制度の検討余地がある。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	所管施設については、経年劣化による機械・設備などの修繕が重なり、改めて、今後の市による施設管理の多難性を感じた。全体的には、安全安心な施設管理が実施できたと考える。 「玉名市公共施設等総合管理計画」並びに「玉名市公共施設個別施設計画」に基づき、民営化に向けた検討・協議を進める。	評価責任者	吉田 勇人
-------------------	--	-------	-------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 草枕交流館・前田家別邸運営事業	草枕交流館を拠点に前田家別邸等、地域資源を活かしたイベントを行う。	草枕交流館開館日数	日	310	312	310	310
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算			
	対象(来館者数(H30は目標値を入力))	7018	6782	5737	6000		
	投入コスト合計(千円)	11,089	10,799	9,718	10,206		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	2	2	2	2		
コスト評価(対前年比)	***	99.23%	(↓)	94.00%	(↓)	99.58%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 草枕交流館来館者数	草枕交流館の延べ来館者数	人	10500	10500	7000	6000
			7018	6782	5737	
2						

* 成果未達成時の理由 一昨年の夏目漱石没後100年、来館120年の記念年事業が終了し、メディア・各種媒体への露出が減ったため来館者が減少した。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性 【24】	<input checked="" type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	c
	<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標を設定している	
	<input type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	c
	<input type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	c
	<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(受益者負担はなじまない)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	現在の夏目漱石や小説「草枕」の情報に特化した施設から玉名市全体の観光案内所の役割を持たせるため、令和元年度を目途にした民間委託を目指していたが、再度協議を行った結果令和5年の民間委託に向け協議・検討を行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和5年度を目途にした民間委託に向け地元住民説明会を開催し、十分な協議を行ったうえで、今後の市としての方針を検討していく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)	

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	草枕交流館は夏目漱石に特化した施設であるが、新たな観光素材となった金粟四三とゆかりの地を含め、市内を広域的に周遊させる観光拠点としての機能を充実させていきたいと考えている。また、新宿区との事業連携も可能なことを継続して行く。	評価責任者 吉田 勇人
----------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 玉名大俵まつり事業	実行委員会に補助金を交付する。併せて事務局を運営する。	実行委員会開催回数	回	15	15	15	15
② 高瀬裏川花しょうぶまつり事業	実行委員会に補助金を交付する。併せて宣伝活動や案内等の受け入れ業務を行う。	イベント開催期間	日	16	16	16	16
③ 山田の藤PR事業	メディア媒体に対し事業のPRを行う。	イベント開催期間	月	3	3	3	3

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(観光客、参加者数(H30は目標値を入力))	160501	189373	251100	250000			
	投入コスト合計(千円)	44,121	15,618	17,958	17,949			
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0			
コスト評価(対前年比)	***	333.33%	(↑)	115.31%	(↑)	99.61%	(↓)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 観光客数	玉名大俵まつり(13,000人)、高瀬裏川花しょうぶまつり(184,000人)、草枕ウォーキング(216人)の合計観光客数。()内はH30年度の実績。	人	300000	300000	250000	250000
2 スポーツツーリズム参加者数	ビーチサッカー、ウォーターサバイバルゲーム、トレイルランの合計参加者数	人	600	700	800	800
			159724	188422	197216	
			700	846	368	

* 成果未達成時の理由 9月に予定していたウォーターサバイバル、ビーチサッカーフェスタは台風接近で中止となったため、目標を大きく下回る結果となった。草枕ウォーキングについても例年3回実施していたが、H30年度は2回のため来場者数は減少している。大俵まつりは産業祭と

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
	<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標を設定している	
	<input type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
	<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(受益者負担はなじまない)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	大俵まつりについては、レースやグルメの部会に加え、新たなイベントに取り組むための企画部会や、伝統である薦織みの技術継承のための動きなど、組織体制としても強化してきており、来場者の満足するような企画や滞在時間を延ばす取組を考えている。ウォーターサバイバルやビーチサッカーについては、定員を超える申込が入ってきている経緯もあり、定員を増やすとともに、コースを増設し、より規模の大きい大会として開催することを検討した。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	大俵まつりやしょうぶまつり、草枕ウォーキングなど地元根付いたイベントについては、実行委員会・団体と引き続き協力しながら、来場者の満足度を上げることで知名度を伸ばしていく。また、近年取り組んでいるトレランやウォーターサバイバルなどのスポーツツーリズムについては、市外からの誘客や宿泊につながる工夫、来場者数増加を狙った内容の検討を行い、イベント誘客事業全体としての来場者数の目標達成を目指す。また、広報関係についても従来の紙媒体から、不特定多数の目に触れるSNS等を活用して情報発信に取り組む。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	各イベントにおいては、年々認知度の向上やイベント内容の充実により来場者数が増加しているが、更なる市内での宿泊や消費に繋げるためにも、着地型観光商品等の観光資源と組み合わせを行い、滞在時間を延長させる仕組みづくりを行っていく必要がある。イベント次第では、実施主体である実行委員会の高齢化や人材不足などが課題となっている。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 着地型観光商品開発事業	観光客の滞在時間を延ばすため体験型の旅行商品を開発する。	会議開催回数	回	12	12	10	6
② 地域資源を活かした受入態勢整備事業	地域資源を活かしたツアーやイベントを実施する	イベント開催回数	回	2	2	1	2
③ プラットフォーム設置に向けた取り組み地域資源活用事業	SNSを活用したキャンペーン等の情報発信	情報発信回数	回	***	***	1	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(参加者数(H30は目標地を入力))	221	149	218	50			
	投入コスト合計(千円)	4,284	4,783	6,086	6,013			
	対象1単位あたりのコスト(千円)	19	32	28	120			
コスト評価(対前年比)	***	60.39%	(↓)	114.98%	(↑)	23.21%	(↓)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 着地型旅行商品参加者数(旬たまWEEK)	参加者数	人	250	250	250	120
			209	135	218	
2 着地型旅行商品数(旬たまWEEK)	商品数	本	15	15	15	5
			12	14	15	

* 成果未達成時の理由 着地型商品数については目標を達成したが、広報不足と商品のマーケティング不足により参加者数の目標を達成できなかった。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性 【24】	<input checked="" type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標を設定している	
	<input type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性 【24】	<input type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(受益者負担はなじまない。)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	従来の旬玉WEEKのメニューに加え、通年で提供できる旅行商品を玉名観光協会たまらHP上で販売可能となった。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和元年度旬玉WEEK事業からの玉名市商工会の撤退が決定した。今後は旅行者に対して提供できる商品を、期間限定商品と併せて、通年商品の充実を図り、受け入れ態勢の強化・整備を行い売れる商品への磨き上げや認知度向上に向け広報展開を行っていく必要がある。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	これまで期間限定での着地型旅行商品である「旬玉WEEK」の開催を行ってきたが、商品によっては、募集人数に満たない商品もあった。今後は恒常的に旅行者への商品提供を行うためにも、採算性や集客性等のマーケティングに取り組みながら商品構築を図っていく必要がある。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 岱明夏まつり事業	実行委員会に対して補助金を交付	補助金交付回数	回	1	1	1	1
② 横島夏まつり事業	実行委員会に対して補助金を交付	補助金交付回数	回	1	1	1	1
③ 天水夏まつり事業	実行委員会に対して補助金を交付	補助金交付回数	回	1	1	1	1

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
	対象(地域住民(開催回数3回))	3	3	3	3
投入コスト合計(千円)	6,413	5,581	5,345	5,245	
対象1単位あたりのコスト(千円)	2,138	1,860	1,782	1,748	
コスト評価(対前年比)	***	114.91%	(↑)	104.42%	(↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 来場者数	岱明・横島・天水の夏祭りの来場者合計数	人	7200	6700	5900	5600
2			6700	5900	5600	

* 成果未達成時の理由 毎年来場者数が減少しているのは、少子高齢化や若者の転出による減などが影響しているのではないかと推測する。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
[21] 妥当性	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	[22] 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
[23] 有効性		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) [24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	平成27年度から各夏まつり実行委員会及び玉名市商工会へ補助金に頼らない自主財源の確保に努めるよう自助努力をお願いしているが、昨年からほぼ自主財源の比率が変わっていないため指導を行った。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	自主財源の比率は、岱明約31%、横島約34%、天水約68%である。 自主財源の比率の低い岱明及び横島については、来年度補助額が各50,000円づつ減額されている。 現状各夏まつりへの補助額及び比率が一定ではないため、将来的に補助額を統一するためにもこれまで以上に自主財源の確保や事業見直しによるコスト削減による改善が必要である。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

[27] 評価責任者(課長)の所見	各夏まつり開催の目的が地域活性化と住民同士のふれあい等を目的としており、補助金申請の目的も同様で、観光的要素が薄く、適正な部署に事務の移管を行う必要があると考える。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 玉名観光魅力アップ事業	ターゲット地域を中心に誘客キャンペーンを実施	誘客訪問回数	回	47	46	50	55
② 観光HPPR事業	市HPに情報掲載、民間HPに情報提供	市HP情報掲載件数	件	97	99	100	110
③ 各種広告掲載事業	メディア媒体等で各種イベント等を紹介	広告件数	件	114	113	115	120

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(観光客数(H30は目標値入力))	1528135	1707834	2243733	2500000			
投入コスト合計(千円)	10,605	10,845	12,584	11,035				
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0				
コスト評価(対前年比)	***	109.29%	(↑)	113.19%	(↑)	127.21%	(↑)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 観光客数	県に報告した玉名市の観光統計の入込客数	人	2500000 1528135	2500000 1707834	2500000 2243733	2500000
2						

* 成果未達成時の理由 大河ドラマ主人公のゆかりの地として全国的に注目が集まり、パンフレットや広告関係の増刷、ゆかりの地を紹介する内容を盛り込み情報発信を行った。また、ドラマ関連の新たな施設が出来たこともあり、来訪者数は前年度より増加している状況である。しかし

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由() 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	観光パンフレットについては、金粟四三にかかる内容を盛り込んでいる。また、その他のパンフレット関係には観光案内サイト「タマてパコ」のQRコードを盛り込み、サイトへのアクセスができるようにしている。また、「タマてパコ」については、既存のコンテンツ(動画など)の音声等を中国語対応に、またテキストに関してはGoogle翻訳を盛り込み多言語対応できるように整備した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	現在、タマてパコに広告バナー管理機能を整備している。今後、サイト運営の財源の一助になればと考えている。閲覧数を増やすためのキャンペーン等も検討する。また、紙媒体についても年代によってはまだまだ需要があるため、デジタル・アナログとも内容の充実を図る。広く発信するものであるため、誤情報の発信が無いよう引き続き細心の注意を払う。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	旅行者への動機付けとして、SNS等のデジタル及び紙媒体等のアナログを駆使した認知度向上に向けた情報発信は必要不可欠であるが、まずは広告に依存せず、メディアを通じて旅行者(消費者)に本市への関心・興味を持たせ、パブリシティと広告を連動させたプロモーションを行う必要がある。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 玉名観光協会事業	補助金交付・人的支援を実施することにより観光振興を図る。	イベント開催回数	回	3	3	3	3
② 玉名温泉活性化事業	補助金交付・人的支援によるイベント実施や環境整備	イベント開催回数	回	15	15	14	14
③ 県北観光協議会事業	県北の自治体と連携して観光PRを実施する。	観光PR回数	回	4	4	4	4

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(観光客数(H30は目標値入力))	1528135	1707834	2243733	2500000			
投入コスト合計(千円)	23,506	24,027	23,875	26,665				
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0				
コスト評価(対前年比)	***	109.31%	(↑)	132.24%	(↑)	99.72%	(↓)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 観光客数	県の観光統計による入込客数	人	2500000 1528135	2500000 1707834	2500000 2243733	2500000
2 温泉旅館宿泊者数	県の観光統計による宿泊客数	人	110000 129242	110000 109496	110000 110462	110000

* 成果未達成時の理由 地震の影響で減少していた観光客数が戻りつつあるが、まだ震災前の数字には到達していない。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	大河ドラマいだてん及び熊本DC事業においては、協議会や周辺自治体との連携を強化している。重複した市町構成となる協議会事業について、統廃合に向けて引き続き検討を行っている。本市単独の活動ではなく、広域で連携することによって交流人口の増加を図っている。		
今後の方向性 [26]	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	日本遺産について、補助事業としては令和元年度までなので、その後の運営体制を検討していく。また新規事業として新たに海外販路開拓に向けて、令和元年度は「くまもとうまかもん輸出支援協議会」に参加する。関係機関の相互連携を強化し、情報の共有を図る。		
次年度への予算反映(連動)	<input checked="" type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) くまもとうまかもん輸出支援協議会 <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	本事業については、(一社)玉名観光協会を始め、市内各団体との連携はもとより、荒尾・玉名地域や熊本県北観光協議会なども広域的に連携し、点ではなく面としての玉名地域の魅力を発信し、交流人口の増加に努める必要があり、今後もスケールメリットを生かして継続して事業を進めていく必要がある。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画	
①	インバウンド推進事業	旅行博への出展及び現地旅行社及びメディアへの訪問	商談回数	回	6	4	4	4
②								
③								

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
	対象(外国人宿泊者数(H30は目標値入力))	1373	2030	2984
投入コスト合計(千円)	4,364	4,173	5,413	17,154
対象1単位あたりのコスト(千円)	3	2	2	6
コスト評価(対前年比)	***	154.62%	(↑) 113.32%	(↑) 31.72%

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標	
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	
1	外国人宿泊者数	県の観光統計による外国人宿泊者数	人	2500	2500	2500	3000
				1373	2030	2984	
2							

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	台湾・香港を中心として東アジアにターゲットを絞リプロモーションを行っている結果、いちごマラソン大会だけでなく、玉名大表まつりも旅行商品が作成され、販売を行った。さらに平成30年度は物産品の商談会にも参加し、物産品の販路拡大に向けた事業も行った。観光客は微増ではあるが増加傾向にある。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も、海外向けの旅行商品作成・販売だけでなく、玉名物産品の販路拡大についても力を入れていく。玉名の生鮮がターゲット国に対し高評価を受けており物産品の販売と併せ誘客を目指す。		
次年度への予算反映(連動)	<input checked="" type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) 海外販路開拓支援事業 <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見	【27】 当市の観光資源を鑑みると、ターゲット国(香港・台湾等)に対して、個別の観光プロモーションの他に市域及び県域を超えて、いわゆる有名観光地を結び、旅中で楽しめるようなプロモーションも広域的に実施する必要がある。	評価責任者 吉田 勇人
--------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 玉名版DMO構築事業	地域のコンテンツを活用したイベントを開催する	イベント開催回数	回	1	0	0	1
② 【推進】玉名版DMO構築事業	インバウンドターゲット国でのマーケティングと受入体制整備	委託事業本数	本	1	6	6	***
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算					
	対象(玉名観光協会会員)	57	57	59	61	投入コスト合計(千円)	47,953	27,827	22,768	4,728		
対象1単位あたりのコスト(千円)	841	488	386	78	コスト評価(対前年比)	***	172.33%	(↑)	126.51%	(↑)	497.88%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 観光客数	県の観光統計による入込客数	人	2500000	2500000	2500000	2500000
			1528135	1707834	2243733	
2 観光ほっとプラザたまらの販売額	販売額	円	50000000	50000000	50000000	46000000
			45231406	45991650	44900356	

* 成果未達成時の理由 観光客数、販売額ともに目標を高め設定しているため。観光客数については、目標に近づいてきている。販売額については、人手不足による事業縮小などに伴い微減する結果となった。引き続き目標を達成できるような施策を実施する。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	
公平性	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
公平性	<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
公平性	<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
公平性	<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	成果指標を設定している	
公平性	<input type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
公平性	<input type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	
公平性	<input type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性	<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
公平性	<input type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由(受益者負担になじまない)	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由(受益者負担になじまない)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	平成30年12月21日に玉名観光協会が観光庁より日本版DMO法人に認定されたことを受け、玉名観光協会のWEBサイト「たまらら」上で、着地型旅行商品の受注機能の追加やギフト商品の販売なども行うことができるワンストップ窓口の仕組みも構築できたことから、より多くの収益を生み出し、継続した取り組みを行える体制を整えた。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 今後は民間主導で継続的な取り組みとなるよう、更なる体制の強化が必要となるため玉名市の着地型旅行商品や物産品の販売に加えて、菊池市や山鹿市、和水町など県北地域との広域的な連携も視野に入れた取り組みが必要となる。加えて「DMO専門員」を観光協会内に配置することで、より専門的に観光地域づくりや関係者の意識改革に取り組む体制を構築する。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	H28年度から地方創生加速化交付金及び推進交付金を活用し玉名版DMO構築に向け事業を行ってきたことにより、玉名観光協会のWEB上において着地型旅行商品や物産品の販売体制が構築された。また、今後はマーケティング機能を強化し、収益を生み出すプロモーションを実践できる組織づくりに向け、更なる体制強化に取り組んでいく。	評価責任者 吉田 勇人
-------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 金栗四三PR業務	各種イベント等に出展し、金栗氏及び玉名市をPRする。	出展回数	回	***	12	43	43
② 大河ドラマ「いだてん」協議会業務	大河ドラマ館(仮称)の運営や地域を盛り上げる施策を協議する。	会議及び部会の開催回数	回	***	2	16	16
③ 玉名市、和水町、南関町協議会業務	玉名市、和水町、南関町が金栗四三氏を核とした一体的なPRを行うため、施策を協議する。	会議及び部会の開催回数	回	***	9	8	8

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(市民)	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
		67577	0	67242	(-)	66850	4.01%	66319	(↑)
		0	0	17,255	0.00%	427,614	(↓)	284,506	149.11%
		0	0	0		6		4	
		***	***	0.00%	(-)	4.01%	(↓)	149.11%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 各種イベント等に出展し、金栗氏及び玉名市をPRする。	交流人口の増加人数(入込観光客数)	人	***	2500000	2500000	2500000
2			***	1707834	2243733	

* 成果未達成時の理由 大河ドラマの放送開始に合わせてPRを行ったが、金栗四三氏の知名度が低いと、玉名市の観光資源が少ないため、観光客は増加したが、目標達成までには至らなかった。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
		<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
		<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(機運醸成と地域振興が目的のため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	関係機関と連携し協議を行いながら事業を執行した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	いだてん大河ドラマ館、金栗四三翁住家・資料館を整備したことで、新たな回遊スポットとしてさらなるPRを図る。今後も引き続き民間、地域団体、1市2町と連携し同氏の功績や人となりを全国に発信することで、玉名の認知度向上に努める。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名) 金栗四三PR事業		

■評価責任者記入欄

【27】 評価責任者(課長)の所見	玉名市を全国にPRする千載一遇のチャンスであることから、今後も引き続き各種団体と連携し、玉名地域のPRに努める。そして、ドラマ終了後、本事業が一過性に終わらないよう「金栗四三ゆかりの地」として継続する取り組みを構築する。	評価責任者 津川 隆一
----------------------	--	----------------